

令和3年度 第2回 研究評価委員会

開催日時 令和4年3月4日(金) 13:30~16:30

1. 事後評価対象課題と評価結果

課題名	目標の達成度	得られた成果	成果の発展性	今後の進め方	合計
(1)黒毛和種雌牛肥育における濃厚飼料中の適正粗タンパク質含量の検討 (R1~3 大家畜研究課)	4	4.5	4.8	4.3	17.6

○ その他特記事項等 (評価委員コメント)

- ・農家にとっても環境にとっても重要な示唆を与える試験であった
- ・輸入飼料価格の動向が高値かつ不安定な状況下で生産者に低コストな飼料設計を普及させることが重要となっている。
- ・生産者への情報提供をお願いしたい。

課題名	目標の達成度	得られた成果	成果の発展性	今後の進め方	合計
(2)羽毛つき行動特性解明による地鶏の飼育管理技術の向上 (R1~3 中小家畜研究課)	3.5	4.3	4.3	4	16.1

○ その他特記事項等 (評価委員コメント)

- ・アニマルウェルフェアとも関連した課題で重要である。
- ・熊野地鶏は品質評価が高いので価格面からもぜひ改善してもらいたい。

課題名	目標の達成度	得られた成果	成果の発展性	今後の進め方	合計
(3)中山間生活の一助となるめん山羊の活用研究 (R3 中小家畜研究課)	2.5	2.5	3.0	3.0	11.0

○ その他特記事項等 (評価委員コメント)

- ・水田における単年度の試験では、成否の評価が難しい。
- ・複数年度に渡る調査で雑草量の減少を把握する必要がある。
- ・めん山羊の飼養による雑草地の管理メリット効果が弱かった。

課題名	目標の達成度	得られた成果	成果の発展性	今後の進め方	合計
(4)高品質体外胚生産のためのOPU前処置法の開発 (R1~3 家畜改良繁殖研究課)	4	4.5	4.5	4.3	17.3

○ その他特記事項等 (評価委員コメント)

- ・素牛生産が少ない三重県において重要な課題である。
- ・OPU前処理の基準が明確(品質・生産性)に示された。